

令和七年 一・二・三月の詩

生きる

谷川俊太郎

生きているということ
いま生きているということ
それはのどがかわくということ
木漏れ日がまぶしいということ
ふつと或るメロディを思い出すということ
くしゃみすること
あなたと手をつなぐこと
生きているということ
いま生きているということ
それはミニスカート
それはプラネタリウム
それはヨハン・シネトラウス
それはピカソ
それはアルプス
すべての美しいものに
出会うということ
そして
かくされた悪を注意深く
こぼすこと

生きているということ
いま生きているということ
泣けるといふこと
笑えるといふこと
怒れるといふこと
自由といふこと
生きているということ
いま生きているということ
いま遠くで犬が吠えるといふこと
いま地球が廻っているといふこと
いまだどこかで産声があがるといふこと
いまだどこかで兵士が傷つくといふこと
いまぶらんこがゆれているといふこと
いまいまが過ぎてゆくこと
生きているということ
いま生きているということ
鳥ははばたくといふこと
海はどろろくといふこと
かたつむりははうといふこと
人は愛するといふこと
あなたの手のぬくみ
いのちといふこと